



子どものしつけや学校生活の場面で、「基本的な生活習慣」という言葉をよく耳にします。もともとは、子どもが小学校に入学するまでに、家庭でしっかりと身につけさせたい幾つかの事柄をまとめて指す言葉で、内容的には、「食事」「睡眠」「排泄」「清潔」「衣服の着脱」「片付け」「あいさつ」などが含まれています。さらに、子どもたちが学校生活を送るようになる、「規則を守ること」や「言葉遣い・礼儀作法」など、いわゆる社会性・マナーも「基本的な生活習慣」の枠の中に入れられることになるようです。

これら一つ一つの行動は、大人になれば、当然身につけていなければならぬ(という前提の)「習慣」ですので「基本的な生活習慣」は子どもを対象にした特別の言葉だとも考えられます。

ところが昨今、子どもたちのあまり好ましいとは言えない実態もさることながら、大人になってもこの「基本的な生活習慣」の未成熟さを問われるような

人間が増えていくようです。社会の多くの人たちが眉をひそめるような「大人や若者」の、主にそのマナーの様子がマスコミなどに象徴的に取り上げられていくことがよくあります。子どもたちは彼らにとつての成長モデルでもあるこうした大人たちの姿を見て、何を感じているのでしょうか。

ある調査で、礼儀正しい親の子どもは「あいさつ」がしっかりとできるのに対して、礼儀正しくない親の子どもは「あいさつ」があまりできない、という結果が得られました。また「身のまわりの整頓」についても、きれいな親の子どもの場合はそうでない親の子どもに比べ「身のまわりの整頓」がよくできるという結果も得られました。

この結果から、子どもの習慣形成にとつて、周りの大人の感化(普段からしていたり「やってみせる」などして子どもの心を変えさせるようなこと)が大変重要な要素であることがわかります。

「基本的な生活習慣」を子どもに身につけさせるためには、大人がしっかりとつけた方針を持ち、それを大人自身が行ってみせる姿勢や、子どもに実際にやらせる訓練が必要です。また、好ましくない大人の姿を見たとき、『あれはしてはいけないことだ』と、反面教師として、捉えられるような判断力を持つ子どもたちを育むのにも、身近な大人の日々の言動や姿勢が大きく影響するとは言いうまでもありません。

伝言板

富士・東部保健福祉事務所(富士・東部保健所)

エイズ夜間検査のお知らせ

12月1日は「世界エイズデー」です。日本でもHIV患者・感染者の報告数については依然として増加傾向にあるため、各保健所では検査及び感染防止の啓発を行っています。

当保健所では次の日程でエイズ(HIV)夜間検査を実施します。検査は採血後1時間以内で結果がわかる即日検査で、匿名・無料で実施できます。あらかじめ電話での予約が必要です。

また、同じ採血でクラミジア、梅毒、B型肝炎、C型肝炎の検査もできます。

夜間検査

12月4日(木)、平成21年1月14日(水)
午後5時30分～7時30分

通常検査

月(金曜日) 午前9時～午後4時

※感染の心配のあった時から、3カ月ほど経過していないと、確実な結果をお渡し出来ませんので、ご承知ください。

問合・受付先

地域保健課 ☎0555(24)9035

心身障害者自動車燃料費助成

富士・東部地区にお住まいの心身障害者を対象に、次の会場で受け付けを実施します。

なお、郵送での受け付けも行っていません。請求書などの書類は、市町村役場障害福祉係の窓口で受け取るか、富士・東部保健福祉事務所のホームページから印刷してください。

受付期間

平成21年1月5日(月)～30日(金)
郵送による締め切り日(消印有効)

各会場での受付日程

県富士吉田合同庁舎
平成21年1月7日(水)

いきいきプラザ都留
平成21年1月13日(火)

大月市総合福祉センター
平成21年1月20日(火)

県富士吉田合同庁舎
平成21年1月27日(火)

時間 午前10時～午後3時

問合・郵送先

富士・東部保健福祉事務所 福祉課
富士吉田市上吉田1-2-5
☎0555(24)9032